

校長室の窓から ～夢の扉第6号～ vol. 56 R3. 5. 10 (月)

文責 学校長



～十分な学習で3日間の考査に臨みましょう。～

1 コロナウイルス感染拡大第4波が本格化。九州でも5県で過去最多に。

5月8日(土)の県内の感染者数は76人(東京都の1600人レベルに相当)に達し、福岡519人、長崎65人、熊本111人、大分93人と九州5県で過去最多の感染者数となり、全国14道県で過去最多を更新する事態となっています。特に変異型ウイルスは若い世代での感染力も強く、若い世代でも重症化するケースが増えています。今一度、感染のリスクは昨年度以上に高いことを再認識し、**各自で感染防止に最大限の協力をお願いします。**マスクの常時着用を。

2 各種大会の結果・・・囲碁県大会で優勝、テニス杵藤地区大会で優勝しました。

5月2日(日)に行われた「杵藤地区高等学校テニス大会」において男子Aチームが優勝、男子Bチームが準優勝、男子Cチーム・Dチームが第3位、女子Aチームが優勝にそれぞれ輝きました。また、5月3日(月)に行われた「全国総文祭囲碁部門佐賀県予選」において男子個人戦で小柳勇太くん(3-2)が優勝、小柳壮生くん(1-6)が準優勝、女子個人戦で岩本一葉さん(2-6)が優勝にそれぞれ輝きました。3人は全国大会(和歌山総文祭)出場の切符を手に入れました。



3 今週の名言・・・アップルの創業者・スティーブ・ジョブズの言葉です。

○すばらしい仕事をするには、自分のやっていることを好きにならなくてははいけない。まだそれを見つけていないのなら、探すのをやめてはいけない。安住してはいけない。心の問題のすべてがそうであるように、答えを見つけたときには、自然とわかるはずだ。

○もし今日が人生最後の日だとしたら、今やろうとしていることは本当に自分のやりたいことだろうか？

【解説】アップルの創業者、スティーブ・ジョブズが2005年にスタンフォード大学の卒業式で行ったわずか15分間の演説は「伝説のスピーチ」として有名です。その時の演説の一節です。彼は、1976年に「Apple I」を販売。85年に業績不振や自由奔放な言動で、自分の会社から追放されます。だが、ジョブズはそれを「私の人生で起こった最良の出来事だったと後に分かった。解放され、人生で最も創造的な時期を迎えた」と前向きに捉え、起業を経て、後に同社に復帰。この経験をもとに、今の自分が置かれている状況だけを見て判断しないこと、悲観的にならないこと、今していることが必ずいつかどこかで役に立つんだと信じて取り組むことの大切さを訴えます。社会に旅立つ卒業生を前に天職をまっとうすることの大切さを説きます。また、満足いく人生を送るためには「これだ!」と思える仕事を見つけることの大切さも伝えます。彼がこのスピーチをした時、彼はガンを克服した後だったので、「あと数十年は元気でいたい」とも言いましたが、残念ながら6年後の2011年に56歳でこの世を去っています。自分の死に直面したからこそ2つ目の言葉「今日が人生最後の日だとしたら」という思いが溢れていたのでしょう。さらにその演説の中で彼は「Stay hungry, Stay foolish.」という有名なフレーズも残しています。直訳すると「ハングリーであれ。愚か者であれ。」となりますが、その真意は「今の自分に満足するな。自分のやりたいことは何かを問い続け、挑戦し続ける人生であれ。」という意味ではないかと私は解釈しています。君たちならどう解釈しますか。

【スティーブ・ジョブズについて】米Apple社の共同創立者のひとり。革新的なパソコンであるApple II、Macintoshを次々と世に送り出し、現在の同社の基盤を築いた。経営の悪化から財務立て直しのため米PEPSI COLA社のJohn Sculley氏をスカウトしたが、意見の対立により逆に同社を去る結果になった。その後、米NeXT社を設立。1996年末、米Apple社が米NeXT社を買収したことで、米Apple社にCEO(暫定最高経営責任者)として復帰した。2000年には、正式にCEOに就任し、同社の再建に精力を注ぎ、iPod、iPhone、iPadを次々と世に送り出した。映画『トイストーリー』を製作した米Pixar Animation Studios社のCEOでもあった。(参考:ASCII.jp デジタル用語辞典より)

4 今週のお故事成語・・・「屋上屋を架す・屋下に屋を架す」【問題】英語で表現すると？

屋根の上に更に屋根をつくること。屋根の下に空に屋根を架けること。益のないことを重ねてすること。昔の人のやったことをまねて、少しも新しさのないものをそして言う場合に使う。(出典:「顔氏家訓」より)

【由来】この言葉は「無駄なこと、必要のないことをする。そのたとえ」を意味する慣用表現です。「屋上屋(おくじょうおく)」は一つの単語ではなく、「屋上」と「屋(おく)」に分かれています。「屋上」はご存じの通り、屋根の上のこと。特に、平らで人が出入りできるようになっている場所のことですね。「屋」は「住処」や「屋根」を意味します。つまり「屋上屋を架す」とは「屋根の上に、屋根を作ること」。同じものを重ねるわけですから「無駄なものを作る、する」という意味になるのですね。またこのことから、無駄なことを「重ねてする」というニュアンスも持っています。「屋下(おくか)に屋を架す」という表現で同じ意味の言葉もあります。違いは「屋根」の「上」か「下」ということ。

5 どこかおかしい日本語(その6)・・・どこが間違いかわかりますか？

- ①焼けぼっ栗に火が付く ②抱擁力のある男性 ③短刀直入 ④心気一転 ⑤異和感

6 今週の一冊・・・司馬遼太郎の『歳月』下巻 (新潮社) です。

明治維新の激動期を司法卿として敏腕をふるいながらも、明治六年、征韓論争で反対派の大久保利通、岩倉具視らと対立。敗れて下野した江藤新平は佐賀の地から、明治中央政府への反乱を企てたが…。三十四歳から四十一歳までのわずか七年間に、栄光と転落を味わった「ふしぎ」な生涯を描く傑作歴史長編。 (参考：本書裏表紙説明より)

【解説】前号で紹介した『歳月』の下巻です。佐賀藩の下級武士から司法卿 (現在の法務大臣) にまで登りつめ、明治日本の法の礎を築きながら、征韓論争で西郷隆盛と同様に下野する道を選択した江藤新平の運命は坂道を転がるがごとく変わっていきます。大久保利通によってまんまと反乱軍 (薩摩や土佐など) 鎮圧のためのスケープゴートに仕立て上げられた感が強い。薩摩の西郷隆盛や土佐の板垣退助を頼るも支援を得られず、自らが創設した警察機構に捕縛され、最後は弁論の機会もなく梟首という惨刑に処せられてしまう江藤の悲惨な運命と、それを画策していく大久保の残忍さ・巧妙さの対比が見事に描かれており読み応えのある作品です。同じく幕末維新时期の西郷隆盛を中心に薩長土肥の活躍を描いた『翔ぶが如く』 (全10巻と長編ですが・・・) と併せて読むことをお勧めします。明治維新时期の見方がより重厚になること間違いなしです。

【作者・司馬遼太郎について】※前号 (5号) 参照。

7 世界遺産を巡る・・・第6回は白川郷・五箇山の合掌造り集落 (世界遺産登録年：1995年)

【解説】白川郷の集落は大型の木造民家群から構成されています。茅葺きの合掌づくりの大きな屋根の下は3～5階からなり、1階は広い居室空間、2階以上は屋根裏部屋の寝室あるいは作業空間となっています。1棟には数十人からなる大家族が住むのが一般的でした。この種の18・19世紀の民家約50棟が集中して残る荻町地域は、山間の田畑のなかに位置し、周囲を広葉樹林が囲み、民家は中央の谷筋の方向に平行して棟を並べ、急勾配の茅葺屋根とあいまって、独特の集落景観を構成しています。白川郷は本州のほぼ中央の山間部にあります。この地は17世紀末期から江戸幕府の直轄支配下にあり、住民の多くは農耕のほかに山林樹木の伐採・搬出や養蚕を生業としていました。民家内の屋根裏部屋では、養蚕の作業なども行なわれていました。また、「結」と呼ばれる住民の相互扶助組織があり、屋根の葺き替えなどの家屋維持を共同して行なう慣習が残る点も興味深いものです。居住と作業のための大規模な空間をもち、大家族が暮した民家の連なる白川集落は、世界的にもユニークな景観を成しています。(：文化庁HP『日本の世界遺産一覧』より)



8 街角グルメを訪ねて・・・第6回は小城市「ドライブイン一平」(小城市三日月町久米 1484-3)

北部バイパス (国道34号線) から小城方面に向かう途中の三日月の国道沿いにある昭和レトロを感じさせる洋食店です。道路沿いの看板には「とんかつ一平」との表記もあります。駐車場は広いスペースがありますが、お昼時には満杯になることもしばしば。12時30分前後は大変込みますので、その時間帯を外した方が待たずに座れます。お勧めはやはり写真の「カツカレー」です。普通盛りでも普通の1.5倍はあります。大盛りを食べる人もいますが、サラリーマンの方々はご飯少なめを注文される姿も見受けられます。定食も色々ありますが、カロリー高めで、料金的にも少し高めなので、私は自分にご褒美をやりたい気分の時に行くことが多いですね。体重を増やしたいスポーツマン御用達の店です。(定休日：毎週水曜日)

9 保護者の皆様へ・・・PTA総会の資料を配布していますので、ご覧ください。

新型コロナ感染防止の観点から昨年度に引き続き書面による開催となりましたPTA総会の資料をお子様を通じて配布しています。ご覧になり、議案についてのご承認 (書面審議) をよろしくお願いたします。書面表決書の提出期限は明日 (11日) までとなっています。タイトなスケジュールで申し訳ありませんが、お子様を通じてご提出くださいますようお願い申し上げます。

【表面の解答】◇ to do something useless ◇ to gild the lily ◇ to gild refined gold ◇ to build a roof atop the roof

【正解】①焼けぼっ杭に火が付く ②包容力のある男性 ③単刀直入 ④心機一転 ⑤違和感

【解説】①この言葉も間違っていて使っている人が多い言葉の一つです。「杭」と「栗」の発音が似ているところから誤用されている。「焼け木杭」とは、一度焼けて炭化した杭のこと。非常に火がつきやすいところから、かつて関係のあった者同士は、一度縁が切れても、元の関係に戻りやすい意味に使われるようになった。特に男女の恋が再燃した時に使われる。②一見見落としがちだが、正しくは「包容力」。「包容力」とは、人を寛大に受け入れる度量の広さという言葉。決して抱きしめる力 (抱擁力) の強い男性ではない。③これも同音の「短刀」と書く誤りが多い。「単刀」とは「刀をふるい1人で敵陣に切り込む」ということ。そこから、「いちいち回りくどい前置きなどの一切を省いて、ストレートに話の要点に入る」ことを意味するようになった。④これも同音の誤りが多い。「心機」の「機」は「きっかけ」の意味。心を新たにすいいい機会に巡り会ったときに使う言葉です。⑤これもよくある間違い。辞書では「違和感」とも書くとなっていますが、正しくは「違和感」と書きます。